

岩手県感染症月報

平成13年11月

岩手県結核・感染症情報センター

平成13年11月の概要

性感染症

ここ2ヶ月増加していた性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症は、11月になって患者数が減少しました。しかし、女性の性器クラミジアの感染者は全国レベルを大きく上回っています。いずれの性感染症も感染の予防には性的接触時のコンドームの使用が効果的です。

薬剤耐性菌感染症

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症はここ3か月報告がありませんでしたが、11月には患者が発生しました。薬剤耐性緑膿菌感染症はこの3ヶ月間患者報告数が増加しています。

性感染症・薬剤耐性感染症（過去5ヶ月間の動き）

（総数）

（定点当たり患者数）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		7	8	9	10	11		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	3.54	1.23	4.62	6.54	6.23	→
	全国	3.84	3.99	4.02	4.43	3.72		
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.85	0.15	0.92	1.54	0.54	↘
	全国	0.88	0.9	0.77	0.98	0.84		
性感染症	尖型コンジローム	岩手県	0.54	0.15	0.77	0.77	0.46	↘
	全国	0.54	0.46	0.48	0.56	0.47		
	淋菌感染症	岩手県	1.62	0.23	1.46	2	1.31	↘
	全国	1.95	2.22	2.13	2.17	1.85		
薬剤耐性菌感染症	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	岩手県	1.95	0.6	1.6	3.1	2.85	→
	全国	3.39	3.6	3.22	3.46	3.46		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	岩手県	0.15	0	0	0	0.3	↗
	全国	0.9	0.6	0.44	0.67	0.9		
薬剤耐性菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症	岩手県	0.45	0	0.15	0.25	0.5	↗
	全国	0.13	0.17	0.14	0.14	0.12		

（男性）

疾病名	地域	月					流行傾向	
		7	8	9	10	11		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	1.54	0.23	1.92	2.23	2	→
	全国	1.61	1.75	1.77	1.88	1.6		
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.38	0	0.46	0.62	0.08	↘
	全国	0.36	0.38	0.35	0.42	0.33		
性感染症	尖型コンジローム	岩手県	0.23	0.08	0.38	0.23	0	↘
	全国	0.3	0.26	0.28	0.3	0.26		
	淋菌感染症	岩手県	1.38	0.15	1.08	1.54	1	↘
	全国	1.65	1.87	1.76	1.75	1.51		

（女性）

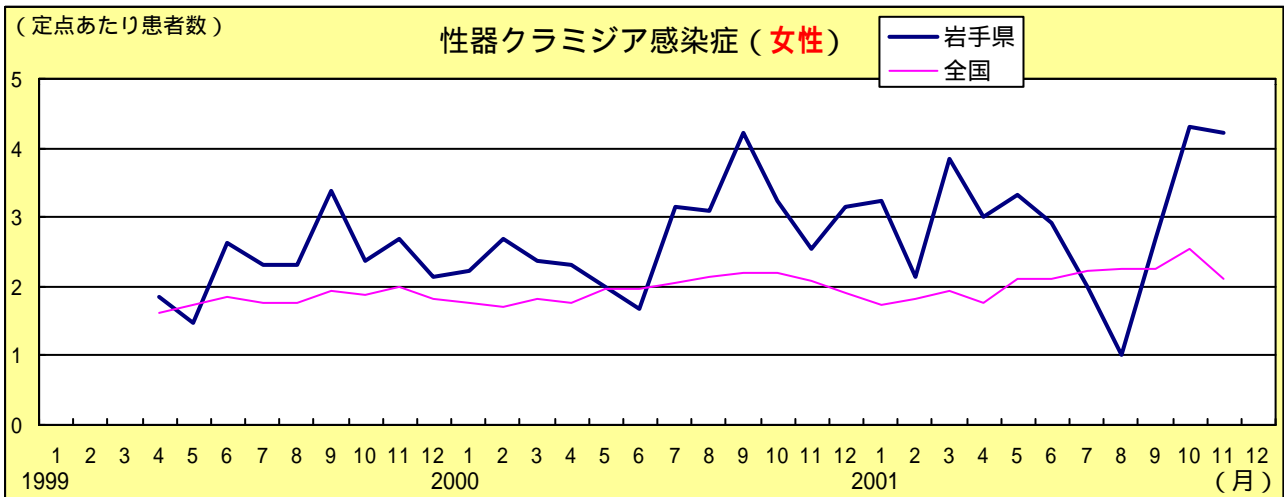
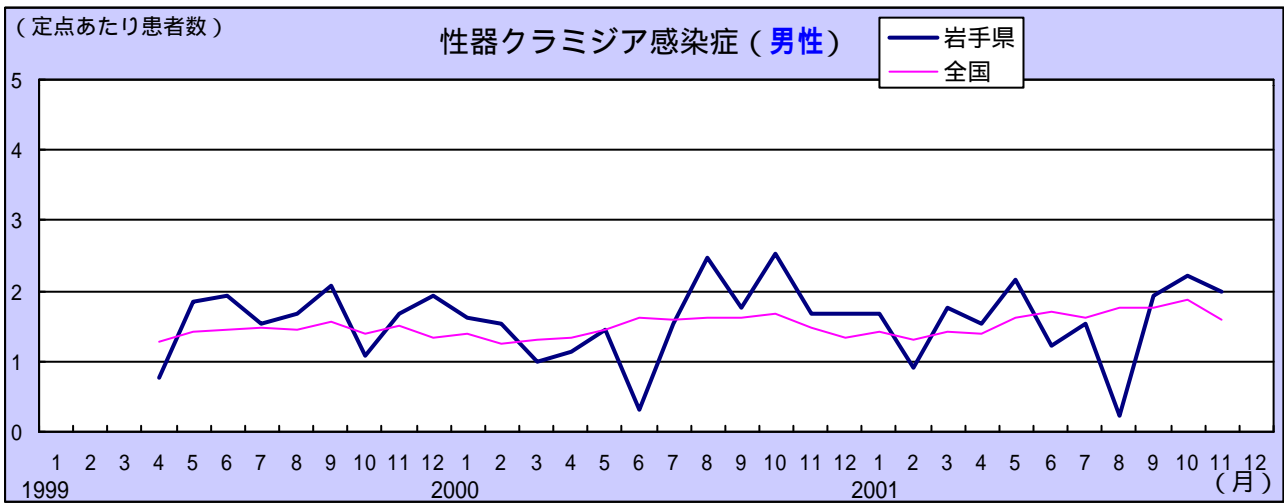
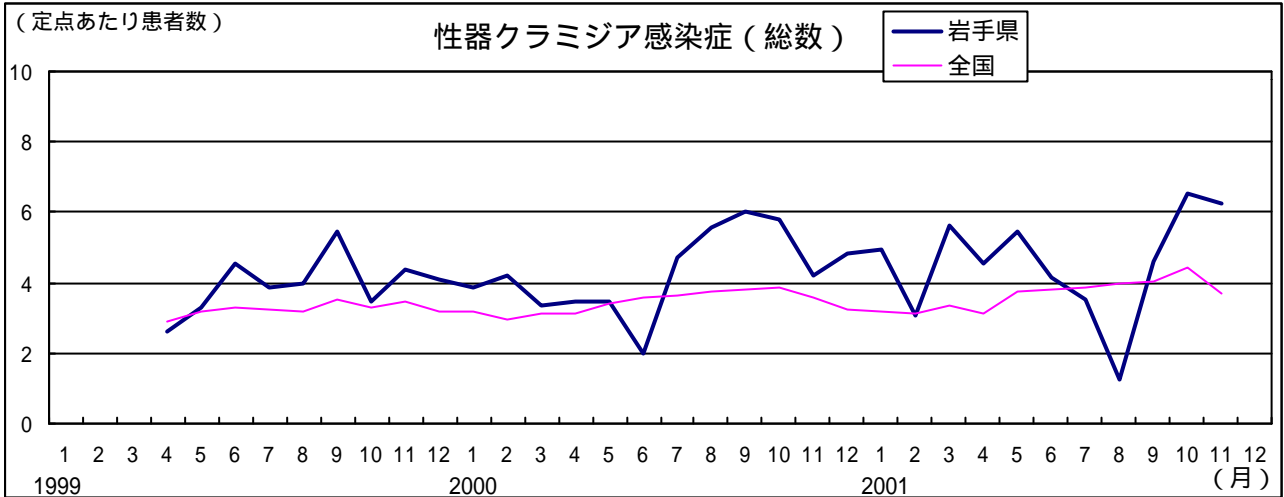
疾病名	地域	月					流行傾向	
		7	8	9	10	11		
性感染症	性器クラミジア感染症	岩手県	2	1	2.69	4.31	4.23	→
	全国	2.23	2.25	2.25	2.54	2.11		
	性器ヘルペスウイルス感染症	岩手県	0.46	0.15	0.46	0.92	0.46	↘
	全国	0.52	0.52	0.42	0.56	0.5		
性感染症	尖型コンジローム	岩手県	0.31	0.08	0.38	0.54	0.46	↘
	全国	0.25	0.21	0.2	0.26	0.21		
	淋菌感染症	岩手県	0.23	0.08	0.38	0.46	0.31	↘
	全国	0.31	0.35	0.37	0.43	0.34		

性器クラミジア感染症

11月になり、患者数の増加は一段落しました。しかし、女性の感染者は全国レベルを大きく上回っています。

感染すると、男性では尿道炎、女性では子宮頸管炎、骨盤内炎、不妊などを起こします。

女性では感染しても自覚症状に乏しいため診断治療に至らないことが多く、無意識のうちに男性パートナーや出産児へ感染させることもあるので注意が必要です。

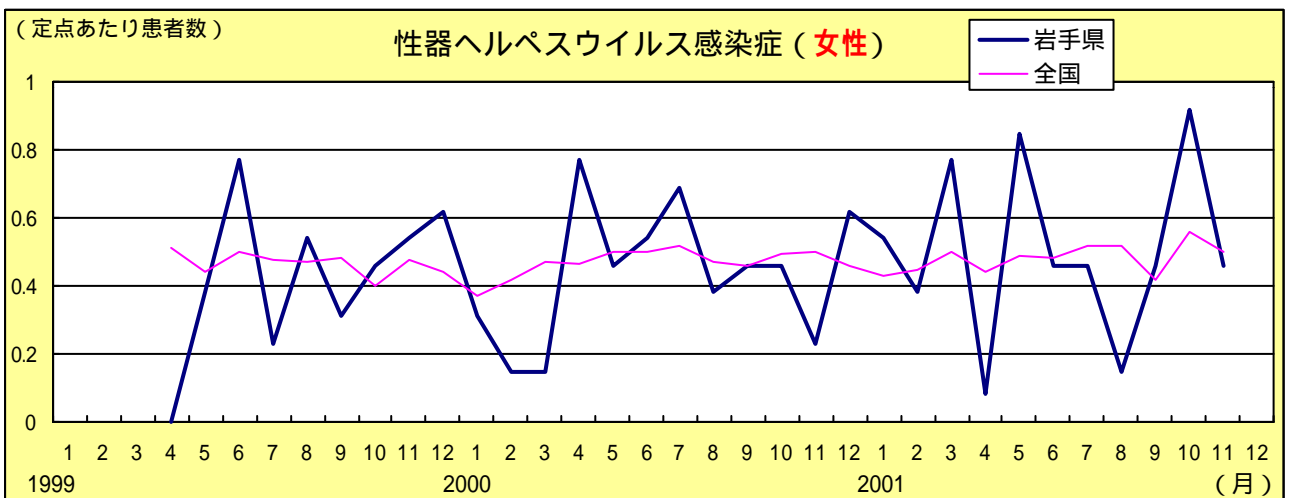
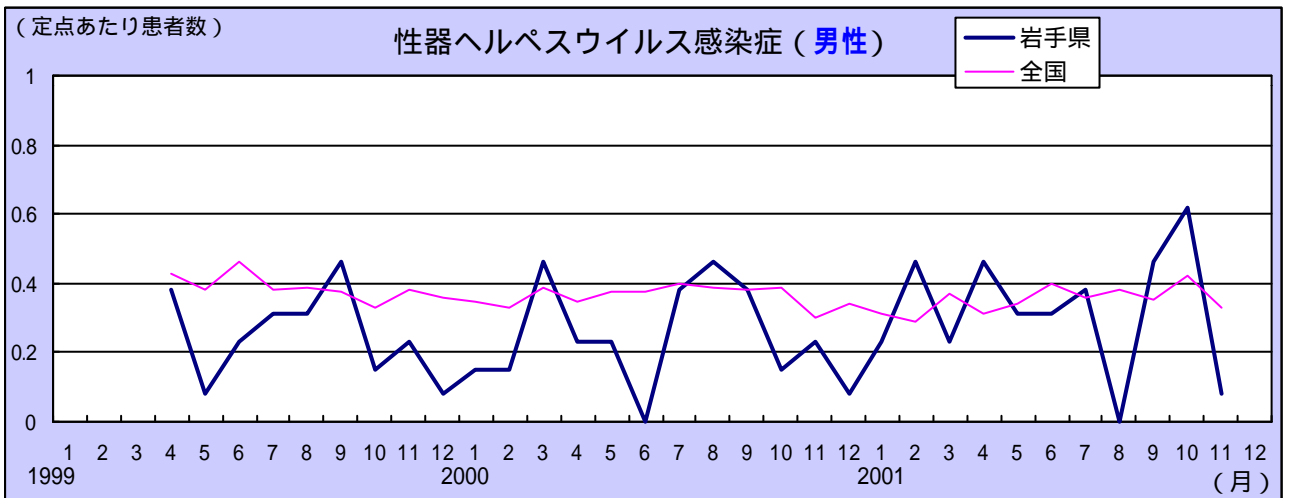
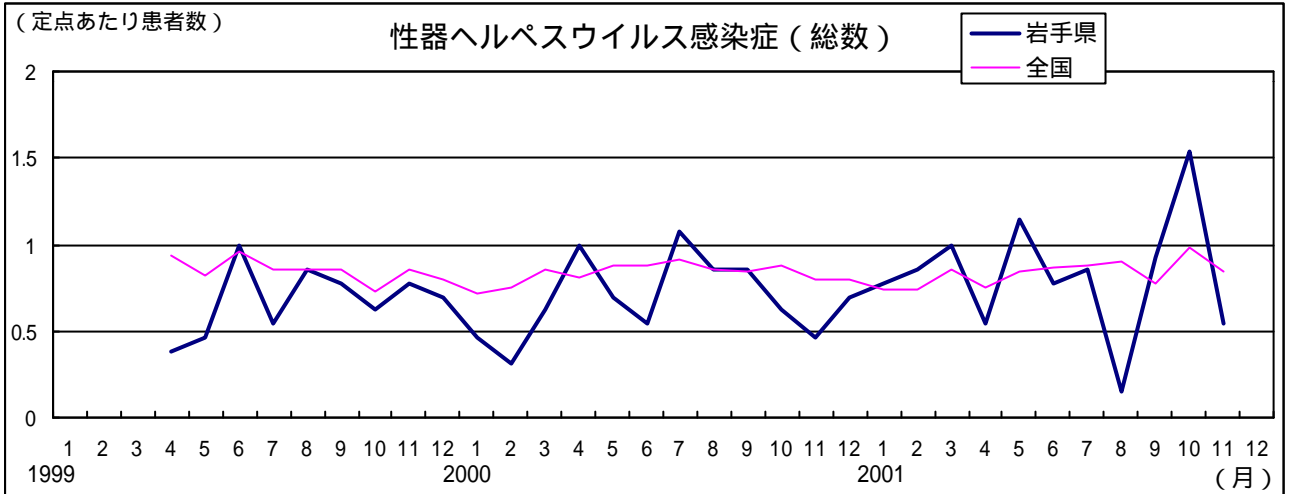


性器ヘルペスウイルス感染症

ここ2ヶ月間患者報告数が増加していましたが11月には減少しました。

性器ヘルペスウイルス感染症は性器やその周辺に水疱や潰瘍を引き起こす疾患で、一度感染すると再発を繰り返します。感染しても無症状でウイルスを排出している場合も多く、知らずに次ぎの相手に移してしまうことがあります。

また、口唇ヘルペスの症状があるパートナーから口唇性交によって感染することも少なくありません。

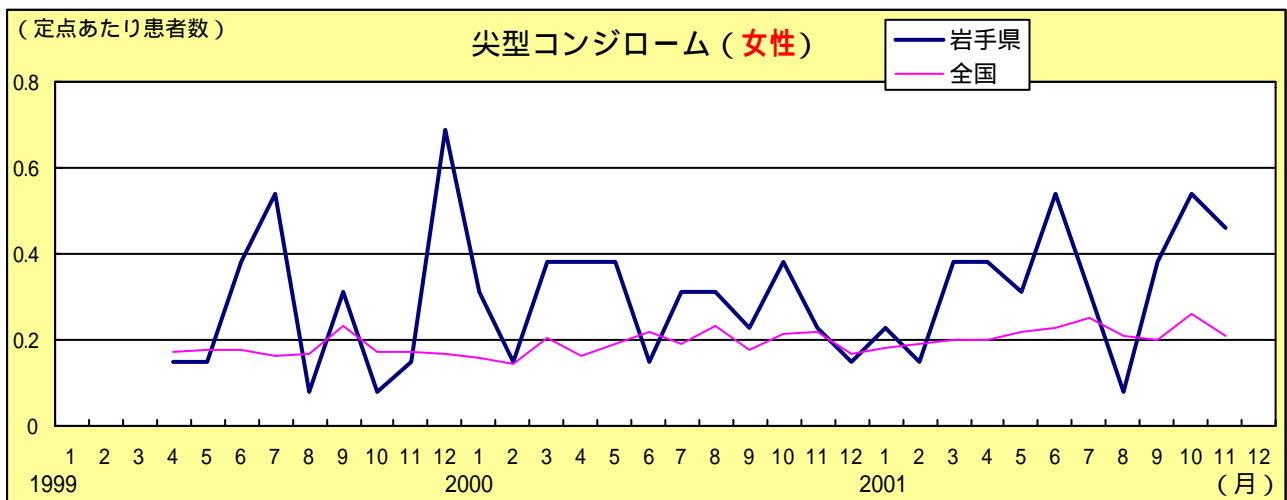
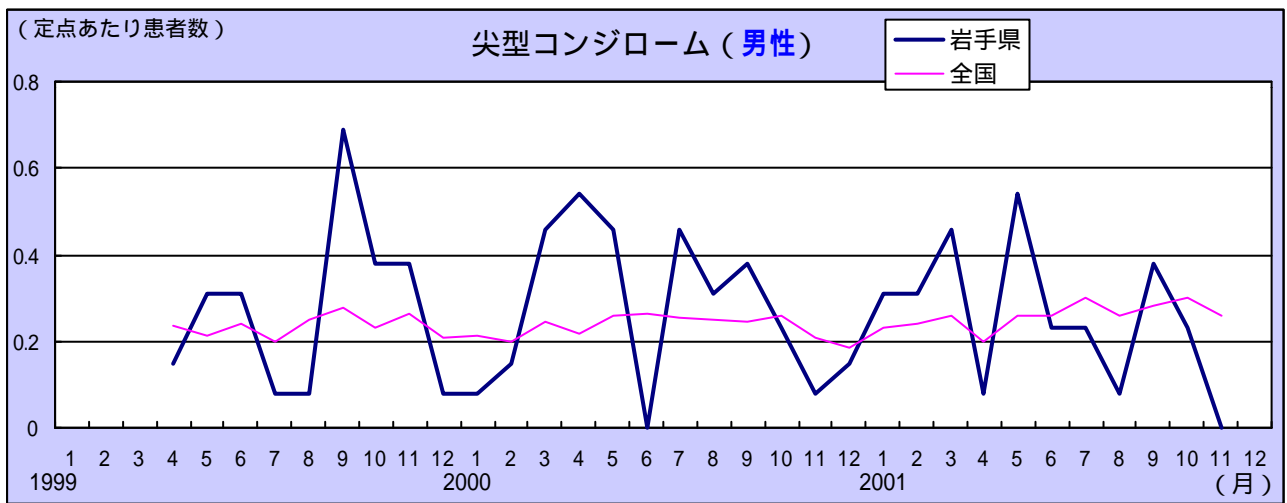
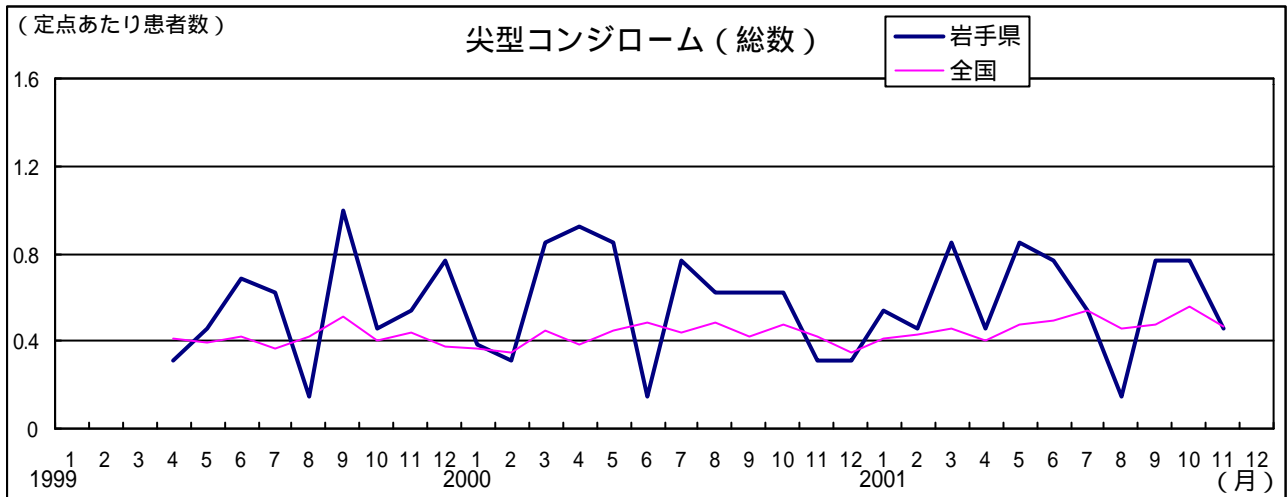


尖型コンジローム

月ごとの増減はありますが、ほぼ横ばい状態です。

尖型コンジロームは性器やその周辺の表面がとげとげしく角化した隆起性病変（淡紅色～褐色の乳頭状、鶏冠状、カリフラワー状）が特徴です。

感染したウイルスの型によっては子宮頸癌の原因となることもあるので注意が必要です。

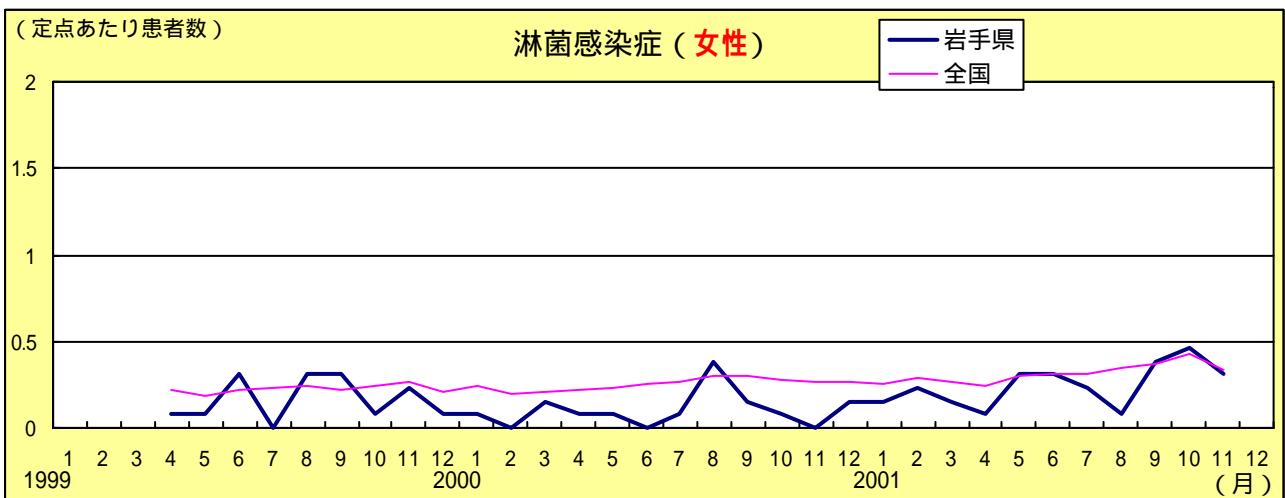
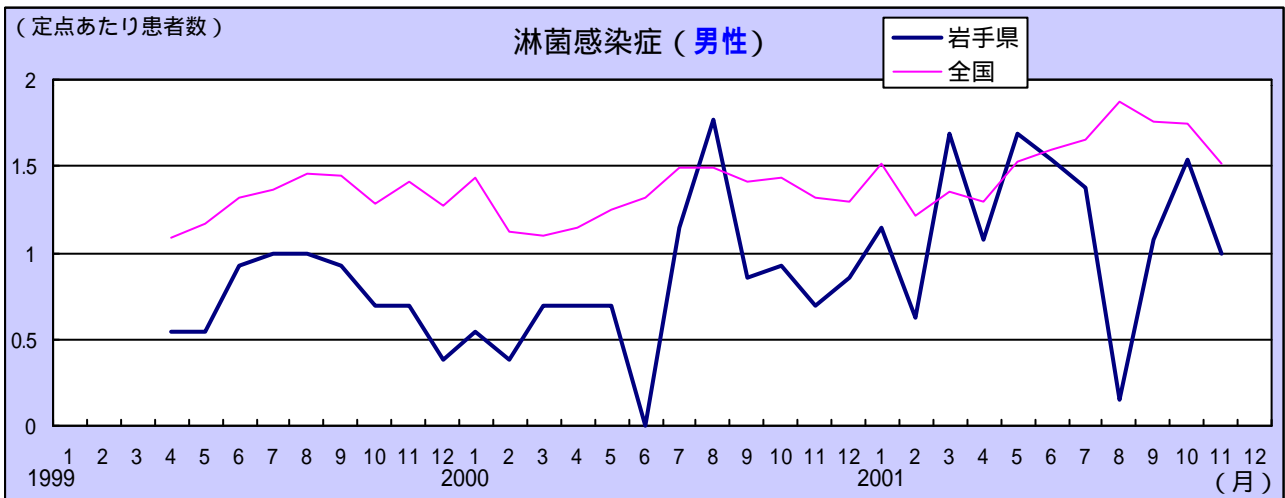
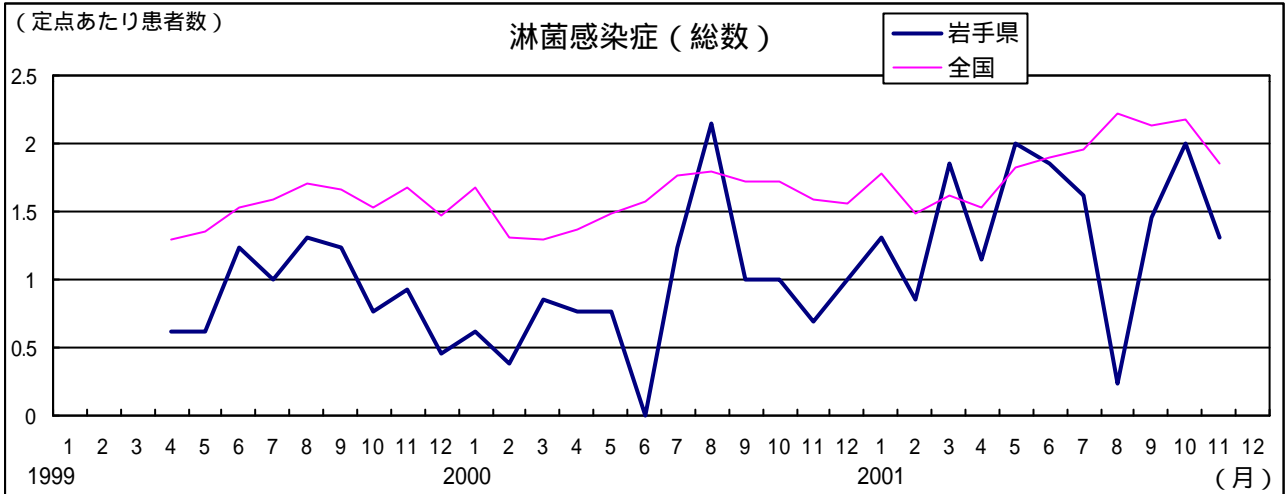


淋菌感染症

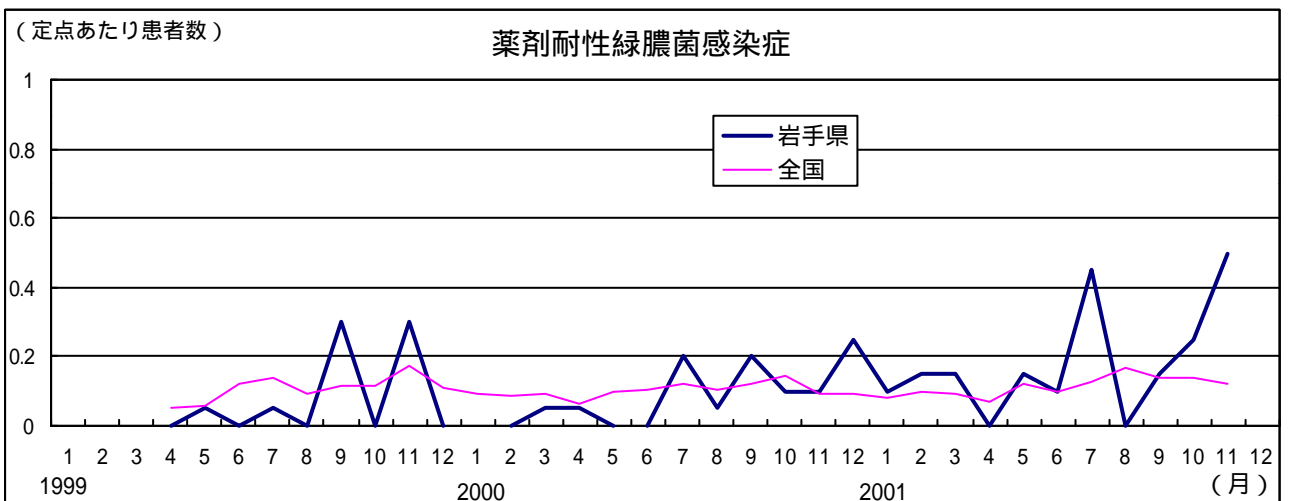
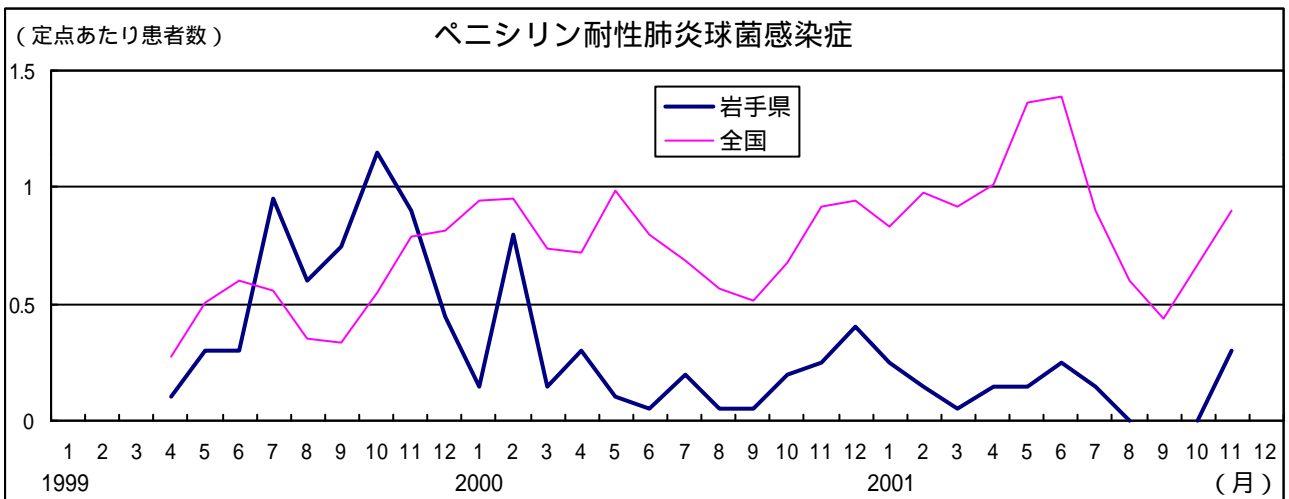
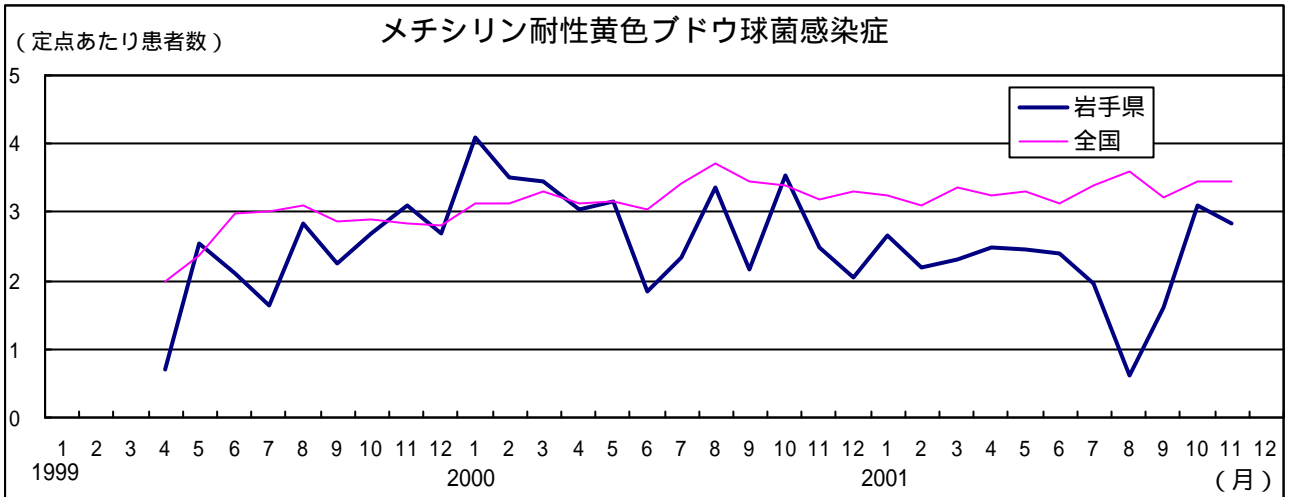
ここ2ヶ月間患者報告数が増加していましたが、11月には減少しました。しかし、ここ数年は、県内でも全国的にも感染者数は増加しています。

全国では、1985年以降のエイズ啓発活動により患者数は減少していましたが、1998年4月以降連続して増加傾向にあります。

女性の報告数が男性より極端に少ないのは、女性は自覚症状に乏しく、受診の機会が少ないことが要因の一つと考えられます。



薬剤耐性菌感染症



病原体検出情報

6月から11月までに岩手県内の病原体定点から送付された検体から検出された病原体は下表のとおりです。

10月には、大船渡地区で上気道炎患者からアデノウイルス3型が8株検出されました。

10月から11月にかけて一関地区で感染性胃腸炎の患者からサッポロ様ウイルス（いわゆる小型球形ウイルス（SRSV）の一種）が8株検出されました。この8株のウイルスの遺伝子の塩基配列はほとんど同一であり、また、同地区で6月に検出されたウイルス株とも遺伝的にほぼ同一の株でした。

月別病原体検出状況

検出病原体	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
アデノウイルス3型					8		8
アデノウイルス40/41型		1					1
エコーウイルス9型			1				1
サッポロ様ウイルス	1				1	7	9
ロタウイルスA群						1	1
総計	1	1	1		9	8	20

疾病別病原体検出状況

疾病名	検出病原体	検出数
感染性胃腸炎	アデノウイルス40/41型	1
	サッポロ様ウイルス	9
	ロタウイルスA群	1
インフルエンザ	アデノウイルス3型	5
上気道炎	アデノウイルス3型	3
無菌性髄膜炎	エコーウイルス9型	1

岩手県感染症月報 平成13年11月

平成13年12月12日発行

発行：岩手県環境保健研究センター

岩手県保健福祉部保健衛生課

事務局：岩手県結核・感染症情報センター

（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1

TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667